

実施講座から学ぶ 今後の課題

～企画時や実施時の問題や
アンケートから見えること～

南部ブロック

2021. 11. 13

発表 H28 林敏弘

1-1. このテーマを選んだ理由

- 南部ブロックでは、公民館と共催企画の長期講座が多い。
- 例1：みやもと生涯学習セミナー（宮本）
講座3回＋バス研でH13より19年間
- 例2：21世紀明日へつなぐ（中央）
講座4回＋バス研でH16より16年間
⇒評判の良かった事例は数多あります。

1-1. このテーマを選んだ理由

- **しかし・・・**
- 「うまく行った」成功事例の発表で終わりがくない
- 企画段階で苦勞したこと失敗したこと
- 実施運営のときの問題や失敗もあるだろう
- アンケートのコメントに貴重な示唆がある
 - ⇒ これらから得られる課題・改善のヒントは
 - ⇒ 今後の講座企画の参考になれば

2-1. アンケート（コメント）から（1）

<企画>に関すること

- 講座のタイトルと内容が結びつかない
- 内容が高度
- 未来のテーマに絞られていたらいい

※反面バラエティに富んで良かった、船橋のことがわかって良かったというコメントも複数あった

<広報>に関すること

- 各回の内容が事前に分からず期待外れ
- バス旅行は広報で目的地を知らせて

（広報ふなばしに内容が載せてもらえなかった）

2-1. アンケート（コメント）から（2）

<講師>に関すること

- 説得力なく成人講座では物足りない
- まるで（自分の）宣伝のように感じた
- 講師によっては単調で眠くなる
- パワーポイントの字が小さくて見えない
- パワーポイントの内容と話す内容に差

<バス研修>に関すること

- なぜ遠い所を選んだのか、近くの工場見学の方が有意義では
- バス旅行は広報で目的地を知らせて
- 見学先の階段が急で足を痛めた

2-1. アンケート（コメント）から（3）

<運営>に関すること

- 関係者の私語が多く不快だった
（会計が合わず話していたのが私語と思われた）
- 質問時間が苦痛（自分の自慢話をする人）
- 外歩きはいいが歩き方に注意して欲しい
- （外歩き時）声を通らず聞きにくかった
- 一方的な講義だけで参加者同志の交流に
結びついてない

2-2. アンケート（今後の希望）から（1）

• 地元船橋に関わる希望

- 行政上や市がかかわる問題。 （船橋・行政）
- **今後の船橋**（跡地開発・新駅） （船橋・行政）
- 新京成の歴史を知りたい （船橋・歴史）
- 五日市・九日市の成り立ち （船橋・歴史）
- **船橋の歴史**（漁業、戊辰戦争etc.）（同上）
- **船橋に住む外国人との交流**（船橋・社会）
- **近くの工場見学**（バス研修先）

⇒ **地元船橋を知りたいという希望多い**

2-2. アンケート（今後の希望）から（2）

- 明日へつながるテーマなど
 - 地球温暖化・ゴミ対策・食の安全（環境）
 - 国際情勢、格差社会、人口減少（社会）
 - 通信技術の現状と将来（近未来）
 - キャッシュレス社会（社会）
 - 老後生活（2000万円）（高齢化）
 - 参加者相互が交流できる時間が欲しい
- 女性講座の希望からは
 - つまみ細工 • フラワーアレンジメント
 - ウクレレ • 民謡 • 歴史講座 etc.

3-1. 実例1 (募集人員が未達)

- 公民館長（当時）の依頼で「親子ウォークラリー」を企画したが、応募がゼロだった。
 - ⇒ 地域のニーズにあっていなかった？
 - ⇒ 当日、学校で他のイベントがあった？
- 広報に載らなかった
 - ⇒ 公民館の事業担当者が締め切りを忘れた
 - ⇒ 結果的に館報とチラシで地元中心に募集
 - ※ 公民館としては地元にもアピールでき成功
と言うが・・・？

3-2. 実例 2 (バス研修)

- 房総のむらで一人行方不明になった
 - ⇒最終的には見つかる。次の見学先にいた。
 - ⇒事前の周知徹底？ 写真、名札、携帯？
- 道中でトイレ休憩がとれなかった
 - ⇒「江戸東京たてもの園」へは首都高経由で途中の休憩場所がないが、渋滞で2時間。
- 下見の問題
 - ⇒見学先の開園日を間違えて下見ができず。
 - ⇒下見時にアクシデントがあった場合は？
(市有車で下見を許可しない館長もいた)

4-1. 課題 1 (募集受付の問題)

- 電話受付と窓口直接受付 (先着順)
 - ⇒ 窓口に来た人、電話の人が同時だったらどちらが優先？
 - ⇒ 集中したときの処理。電話での聞き間違い。
- 往復はがきなら公平か？ (抽選)
 - ⇒ コンビニで売っていない。書くのが面倒。
 - ⇒ 抽選、返信用に記載、投函など事務処理も多い。
- メールならどうか？ (先着順・抽選)
 - ⇒ メールを使えない人との公平性は？
 - ⇒ そもそも「広報ふなばし」では電話番号だけ。

4-2. 課題2 (講座の広報の問題)

• 応募者の大多数が「広報ふなばし」から

※年々掲載される情報量が少なくなっている
広報主導で公民館の希望はなかなか通らない

⇒期待した内容と違うというクレームに

⇒内容を電話問合せで対応するが非効率

• チラシやポスターは？

⇒そもそも 公民館にチラシを取りに来る人が少ない

⇒大量のチラシに埋もれる。置く公民館限られる

• 今後はネットでは？市のホームページは？

⇒市のホームページは情報多すぎて公民館の詳細へ

辿りつくのが非常に難解。公民館ごとバラツキ

⇒チラシのPDFを公開する戦力がない

4-3. 課題3 (バス研修先選定)

- 人気のある工場見学は予約ができない！
 - 半年前の予約開始ですぐに満杯
 - 小学生、中学生が優先される
- 歴史探訪は人気が高いが・・・
 - 歩けない人をどうするか
 - 現地下見、現地ボランティア依頼の苦労
(現地ボランティアにお礼ができない)

4-4. 課題4 (街歩きの課題)

- 現地集合、現地解散の問題
⇒ 実例：**連絡なしに来ない人**
(電話つながらない、他の人を待たせる)
- 誘導の課題 (安全の確保)
⇒ **話ながら歩く、信号渡りきれない**
路地に車が来るとき・・・
- 長蛇になってしまう。説明が聞こえない
⇒ **住宅街では音量を上げられない**
- スタッフの適正数、配置は？
⇒ **1グループの最適人数は？**

4-5. 課題5（講師選定と依頼）

- テーマからどの講師を選ぶか
- 日程が合うか
- この講師料で引き受けてくれるか
 - ⇒ **安全策：過去や他公民館での実績
知り合いの講師など**
- 事前の講師との打ち合せ
 - ⇒ 多忙を理由に事前打ち合せなし。資料も
確認できず（本人は自信満々）
 - ⇒ **結果として期待外れの内容のケース**

4-6. 課題 6 (継続テーマの課題)

- H 16年から続く「21世紀・明日へつなぐ」
 - ⇒ 戦時体験者の話を必ず入れていたが
 - ⇒ 既に高齢。疎開等幼少期の話が最近は中心
 - ⇒ 独自性のある企画の提案が出てこない
 - ⇒ 実現できる講座のはめ込みで統一性なし
 - ⇒ しっかりしたポリシーで統一したテーマが必要

4-7. 課題7 (アンケート)

- アンケート項目と取り方（毎回か最終日か）が公民館の事業担当者任せ
 - ⇒過去と比較できない。他の講座と比較できない。
 - ⇒次につながるデータになっていない。
- 最終日だけにとると参加者全員の意見がとれない

5. 新たな課題

- **アフターコロナ、ウィズコロナの講座の企画のあり方は？**
- **公民館との共催企画のあり方は？**

6. ご提案（ブロック横断で）

- 各ブロック、各公民館でそれぞれ・・・
 - たくさんの課題、困りごとがあるのでは？
 - うまくいった事例、企画の立て方があるのは？
 - これまでの経験や情報が埋もれている？

だから 

**ブロック横断で知識や情報を共有する
場を構築しませんか？**

**ブロック横断で助け合える仕組みを作り
ませんか？**

おしまいに

船橋の生涯学習のために、
これまでの20年間の蓄積を
次の20年間に継承し、
改善、発展させていきたいと思います。

ご清聴ありがとうございました